

# ロボット関連技術PRカード

## 1. 企業概要

会社名	JP Drone 株式会社		代表者名	後藤 純一			
			窓口担当	丸谷			
事業内容	ドローンの設計・開発・製造・点検		URL	<a href="https://jpdrones.co.jp/">https://jpdrones.co.jp/</a>			
主要製品	設備点検用ドローン/自立飛行型ドローン/産業用ドローン						
所在地	〒343-0006 埼玉県越谷市北川崎 25						
電話/FAX 番号	048-911-2181		E-mail	website@jpdrones.co.jp			
資本金(百万円)	3	設立年月	2021年4月	売上(百万円)	—	従業員数	7

## 2. PR事項

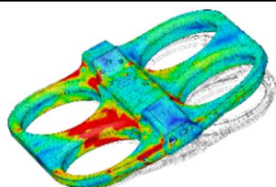
### 『国産ドローン技術で社会インフラの安全・安心を支えます』

#### 【産業用ドローン開発・カスタマイズ】

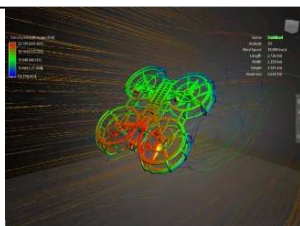
国内開発ならではの信頼性の高いドローンを、現場の環境・用途に合わせて開発・カスタマイズ。

非 GPS や狭あい空間でも自律ホバリング機能により、安全かつ高精度な点検・作業を実現します。

- ① 高精度シミュレーション技術により、構造・空力・熱・振動特性を設計段階で事前検証。開発精度の向上と期間短縮に貢献します。



有限要素解析 (FEA)  
機体フレームの  
強度解析シミュレーション結果



流体解析 (CFD)  
プロペラ周辺の  
気流シミュレーション結果

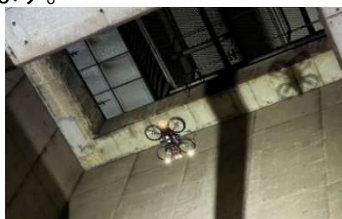
- ② 高性能センサと AI を搭載した自律ホバリング機能により、従来機と比べて安定した運用を実現します。



JP-Scout (V1)  
狭隘空間での自律飛行を目的とした  
高性能飛行型ドローン  
※2026年5月現在、改良版 V2 を開発中  
(年内完成予定)

#### 【インフラ設備点検】

鉄道トンネル・立坑・天井裏・下水道管路など、人が立ち入りにくい屋内狭あい空間における設備点検業務を承っております。



屋内の高所壁面や天井裏でも、ホバリング機能により安定した近接飛行で高精細な点検画像を撮影できます。従来の足場を組んだ点検と比べ、時間・手間・コストを大幅に削減できます。



2025年の八潮陥没事故以来注目が高まっている下水道点検の分野において、点検サービスを提供しています。環境に応じて飛行型のみならず舟形ドローンの開発も手がけ、無線通信の限界を克服するため、有線方式の導入にも積極的に取り組んでいます。さらに、事故を契機に国が見直しを進める下水道維持管理ルール・基準に対応すべく、点検の効率化・高度化に向けた幅広い開発・研究にも取り組んでいます。

#### 【研修サービス】

- ドローン関連の座学・操縦実技を組み合わせた研修を実施。
- 2026年4月に越谷 LAB 内にオープンした研修施設にて、お客様のニーズに合わせたプログラムを提供中。

#### 【お取引先】

東京地下鉄株式会社、東急建設株式会社、大成建設株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社アクティオ、株式会社 Daiko、神戸市建設局 ほか

## 3. 特記事項 (得意技術以外に PR したい事項 例: 特許情報、応用分野、表彰・認定)

- 東京メトロ公式メディアにトンネル検査事例として掲載 <https://www.tokyometro-news.jp/n/na1ecec8931c8>